

スポーツ環境の充実

(健康づくりからトップアスリート育成)

ラグビーワールドカップ
感動を継続した活動へ

「見る」から「する」

への循環づくり

のため議会で質問し、
以下を要望しました。

- 憩い・健康づくりの「場」や「機会」確保
- 中学校部活動指導者による専門性強化
- 県タレント発掘事業への市の協力
- 市で高校野球決勝戦
- 市民体育館は廃止でなく移転継続
- 舞鶴球技場を箱崎中跡地に移転・人工芝にすること。



今林ひであき

市政報告

【発行者】

福岡市東区
塩浜一丁目16-25
今林ひであき事務所
TEL. 092-605-6515



○ R1年12月議会質問

問 ラグビーワールドカップ福岡開催での

小・中学生の授業観戦はできたのか

(世界一流を見て・触れることは大事)

答 トップレベルの観戦は有意義との認識

だが、実際は、市立で小学校1校のみで
課題があった。

今後はより多くの子どもが観戦できる
ように取り組んでいく。

市民体育館は、総合体育館の

開館後は、廃止予定だが、

メインアリーナは使用できなくな
るまで残す。(議会答弁)

しかし、オープン後も、

利用率は、メインアリーナ以外
も同様に高く、廃止できるよう
な状況になく移転し、継続すべ
きと要望しました。

(移転先は箱崎九大跡地はどう?)

文化・スポーツは 行政サービスの究極

○スポーツする「場」や「機会」が身近にあると感じる市民の割合は、58%だが、市民の健康・憩いへの思いは、もっと、多いはず。少しでも増やす努力が必要

○施設の土日の利用状況は
総合体育館^{93%} 市民体育館^{94%} 区体育館^{95%}、
グラウンドの土日の抽選倍率は6.9倍
球技場の土日の抽選倍率は3.7倍

○国のスポーツ基本法
「スポーツを通じて、幸せで豊かな生活を営むことは人々の権利であり

〈中略〉
その機会が確保されなければならない。

○福岡市基本計画では
「全ての市民が……」

○スポーツ振興計画では
「身近な地域でのスポーツ・レクリエーションの場を充実」

雁ノ巣レクで高校野球 決勝戦はできないか。

○高校野球の決勝戦については、
野球場は、競技面での基準を満たしている球場(今津)はあるが、開催自体は、主催者等が、交通の利便性等を含め、総合的に判断する。

○主催者に「うん」言わせるため、雁ノ巣のプロ2軍の球場を改修したらどうか。

※ 雁レクの隣接地へリポート施設のトイレが使用できるようにします。野球場の9番の奥近く

※ 雁レクのグラウンドの夏場の水撒きに散水車(消防自動車)の活用を

専門性を高めるため、中学校に部活指導員を導入しています。

さらに、専門性を高めるため、より高度の方からの指導はできないのか

アビス。パ福岡・がんばれ 成績が低迷しています。

支援する企業に恵まれず、市からの税金による支援を受けています。その金額は、推定年間1億は軽く超えています。

「職員1人を派遣」

「委託事業と称して年間約5千万円を支出」

※市民応援デー・サッカー教室など

「さらにグラウンドの芝の管理・使用料の減免」

市の支援は、誘致した経緯もあるからです。

藤枝ブルックスを誘致して、すでに24年が経過、

他のプロスポーツは、支援企業もあり、自前で

活動しています。しかも、プロでもないラグビー

でも「ラグビーフェスタ」など無料観戦を実施

しています。

強くなれば、支援企業も現れ、

市の税金の支出はなくなる。

市民が納得する税金の使い

方が求められています。